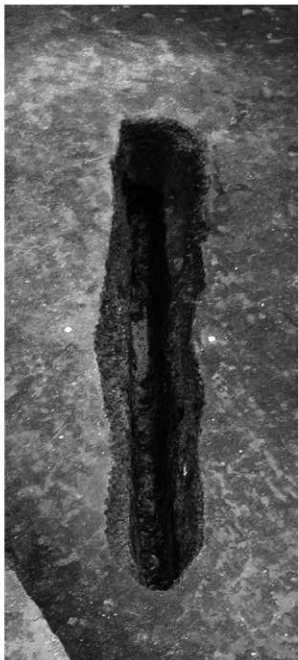




第5号溝状土坑土層堆積状況 南西から



第5号溝状土坑完掘状況 南西から



S1-2



図 9-6



図 9-7



金床石?

縮尺：約 1/3

S1-3



図 12-1
縮尺：約 1/3

写真図版 28

SI-3



図 12-3



図 12-2



図 12-4



図 12-5

縮尺：約 1/3



図 12-6

縮尺：約 1/2

写真図版 29



SI-4



図 15-8
縮尺：約 1/3



図 15-9
縮尺：約 1/3



SI-4 S-1
縮尺：約 1/3

SI-5



図 18-1
縮尺：任意

SI-5



図 18-4
縮尺：任意

写真図版 31



写真図版 32

S1-5



図 19-5
縮尺：約 1/3



図 19-8
縮尺：約 1/2

S1-6



図 22-3
縮尺：任意

S1-6



図 22-1
縮尺：任意

写真図版 33



写真図版 34

報告書抄録

ふりがな	ねこはしいせきに								
書名	根古橋遺跡Ⅱ								
副書名	一般国道45号上北道路建設事業に伴う遺跡発掘調査報告								
シリーズ名	青森県埋蔵文化財調査報告書								
シリーズ番号	第498集								
編著者名	能代谷 征則 中村 哲也								
編集機関	青森県埋蔵文化財調査センター								
所在地	〒038-0042 青森市新城市天田内152-15 TEL.017-788-5701								
発行機関	青森県教育委員会								
発行年月日	西暦2011年3月30日								
所収遺跡名	所在地	市町村コード	遺跡番号	日本測地系 (Tokyo Datum)		調査期間	調査面積	調査原因	
根古橋遺跡	青森県上北郡六戸町大字大落瀬 あふりこし 字根古橋229-1、 外	24058	405061	北緯	東経	20090427 と 20090717	3,100 m ²	一般国道45号上北道路建設事業に伴う事前調査	
				40° 39' 34"	141° 19' 35"				
				世界測地系 (JGD2000)					
				北緯	東経				
				40° 39' 44"	141° 19' 23"				
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項			
根古橋遺跡	生産	縄文時代 前期後半～晩期		溝状土坑 1基	縄文土器				
	集落	平安時代		竪穴住居跡 5軒 土坑 3基	土師器・須恵器・ 羽口・製塩土器・ 鉄製品・鉄滓・ 砥石	竪穴住居跡5軒のうち2軒は焼失住居である。			
要約									
<p>根古橋遺跡は、六戸町中心部から北方約6kmの段丘上に位置する。標高は35m前後である。平成20年(2008年)に発掘調査が実施され、縄文時代の溝状土坑4基、平安時代の竪穴住居跡1軒・土坑2基が検出されている。平成21年度は隣接する地区を調査し、縄文時代の溝状土坑1基、平安時代の竪穴住居跡5軒・土坑3基が検出された。平安時代の竪穴住居跡は2軒が焼失住居跡である。</p> <p>出土遺物は、平安時代の土師器をはじめとして、少量の須恵器、製塩土器、羽口、鉄製品、鉄滓、砥石が出土した。縄文時代前期後半～晩期のいずれかの時期には陥穴が構築され、狩猟場として利用されたと考えられる。平安時代には、小規模な集落が営まれたと考えられる。</p>									

青森県埋蔵文化財調査報告書第498集

根古橋遺跡Ⅱ

—一般国道45号上北道路建設事業に伴う遺跡発掘調査報告—

発行年月日 2011年3月30日

発行 青森県教育委員会
〒030-0801 青森市新町二丁目3-1

編集 青森県埋蔵文化財調査センター
〒038-0042 青森市新城字天田内152-15
TEL.017-788-5701 FAX.017-788-5702

印刷 やまと印刷株式会社
〒036-8061 青森県弘前市神田4-4-5
TEL.0172-34-4111

